

## ＜心肺同時＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
  - (1) 全身性の活動性感染症
  - (2) HIV抗体、HTLV-1抗体、HBs抗原、HCV抗体などが陽性
  - (3) クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
  - (4) 悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）
  
2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。
  - (1) 心疾患の既往
  - (2) 心電図、心エコー図などによる心疾患の所見
  - (3) 大量のカテコラミン剤の使用  
(例: ドパミン  $10\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$  にても血行動態の維持が困難な場合)
  
3. 臨床的に肺疾患が存在する場合には、移植の適応を慎重に検討する。
  
4. 肺の機能が良好であることが望ましい。
  - (1) 肺コンプライアンスが保たれている(注1)
  - (2) 肺の酸素化能が維持されている(注2)
  
5. 年齢：50歳以下が望ましい。

注1：最大気道内圧 $<30\text{ cm H}_2\text{O}$

(1回換気量  $15\text{ml}/\text{kg}$ , PEEP= $5\text{ cm H}_2\text{O}$  の条件下)

注2： $\text{PaO}_2 > 300\text{Torr}$  ( $\text{FIO}_2=1.0$ , PEEP= $5\text{ cm H}_2\text{O}$  の条件下)

又は

$\text{PaO}_2/\text{FIO}_2 > 250\sim 300\text{Torr}$  (PEEP= $5\text{ cm H}_2\text{O}$  の条件下)

付記 上記の基準は適宜見直されること。